

採血結果の見方

白血球 肺炎や膀胱炎などでも上昇しますが、
ステロイド（プレドニ）内服でも上昇します。

赤血球、血色素（ヘモグロビン） 貧血の指標です。
血小板

Na（ナトリウム） 塩分を反映します。高値なら減塩を！

BS（血糖値） 食後は上昇し、その後、低下します。

HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー） 1カ月の血糖の平均を示します。

糖尿病の指標としては、血糖値よりもHbA1cをまず参考にして下さい。
ステロイド服用に伴い糖尿病の気がでることがあり、時々、チェックが必要です。

GOT,GPT, γ-GTP 肝機能の指標です。

HDL（善玉コレステロール）

LDL（悪玉コレステロール） 動脈硬化の原因となります。

高値なら、脂もの（肉、天ぷら、唐揚げ、タコ、マネーズ、牛乳など）
を控えてください。

TG（中性脂肪）

UA（尿酸） 肉やビールで上昇します。

Cr（クレアチニン） 腎機能の指標です。

CRP 炎症反応。リウマチのコントロール悪化時には上昇しますが、
肺炎、膀胱炎、腸炎などいろんな炎症でも上昇します。

KL-6（ケールシックス） 間質性肺炎のマーカーです。

急に上昇したら、胸部レントゲンなどを検討します。

MMP-3 関節の滑膜から出る酵素で、関節破壊の指標になります。

低値ならリウマチが安定、高値ならまだ活動性が高いことを示します。
200前後ならまずまずです。高い方は1000を超えることもあります。